



平成31年度 入学おめでとうございます

春の陽射しと満開の桜の中、8日(月)に始業式を行い、在校生143人に小学部転入生3人を迎えた146人が新年度のスタートを切りました。そして9日(火)、入学式を挙行し、小学部15人、中学部16人、高等部33人、計64人の新入生を迎え、全校児童生徒210人で平成31年度が始まりました(今年度は、訪問指導を行う児童が1人いますので、その児童については、本日、ご自宅で入学式を行う予定です。また、元号は5月から「令和」ですが、今年度入学生については、平成31年度入学生ということになります)。

以下、私の式辞の一部を紹介します。

小学部一年生のみなさん、ゆっくりでいいですので新しい学校に慣れてください。東濃特支はとっても楽しいですよ。みなさんが元気よく教室に飛び込んできてくれる姿を楽しみにしています。

制服に身を包んだ中学部一年生のみなさんは、とても輝いて見えます。新しい生活に期待がいっぱいですね。中学部では、これまでにはなかった作業学習や新しい勉強、行事がたくさんあります。ドキドキ、ワクワクする毎日の中で、多くのことを学んでいきましょう。

そして高等部一年生のみなさん、みなさんは高等部では新入生ですが、学校の中では、小学部、中学部の児童生徒のお兄さん、お姉さんになります。先輩としてよいお手本になってください。そして三年後、社会に出て働く力を身に付けるために、勉強や部活動はもちろん、作業学習や職場での実習にも全力で取り組みましょう。

ところで、アニメのアンパンマンをみなさんは知っていますね。アンパンマンはよく「僕は何のために生まれてきたのだろう」と考えます。そして自分がくじけそうな時に、「そうだ、困っている人を助けるためなんだ」と気づきます。「困っている人を助けた時に、こころがあたたかくなって、そのときわかるんだ。僕が何のために生まれてきたのか」と。みなさんが、この東濃特別支援学校で勉強するのは、それは自分のためだけではなく、他の人を助けるために、そうしてみんなと一緒に力を合わせて生きていくために勉強するのです。この学校で、友達と助け合い、仲間の大切さを学んでいてほしいと思います。

